

会 員 各 位

(公社)日本医業経営コンサルタント協会
教育研修委員会 担当副会長 永山 正人

個人研修（自宅学習）の新規教材の販売開始のお知らせ

個人研修（自宅学習）用教材として、新たに6教材（動画配信）を1月18日（水）より販売を開始しましたので、ご案内いたします。

今回の新規教材の内容は、平成28年11月の本部継続研修（集中研修／大阪）の一部を収録したものです。

個人研修の履修時間は、本部主催の研修時間として認定されます。医業経営コンサルタントの1登録期間内における個人研修の履修認定上限時間数は、必要履修時間数が100時間の場合は50時間まで、80時間の場合は40時間まで、60時間の場合は30時間までです。

【教材の配信方式】

個人研修の教材は、動画配信方式です。平成26年6月より販売開始の教材より、インターネット回線が繋がっていない場合にも視聴できるよう、ダウンロードができるようになりました。（平成26年5月以前に販売していた教材はダウンロードできません。）

ダウンロードファイルはmp4形式です。ダウンロードに関する詳細は、実際の視聴画面でご確認いただけます。

1. 購入方法・履修登録方法等

- ① 協会のホームページ(<http://www.jahmc.or.jp>)から会員専用ページにログインし、「研修情報」→「個人研修」の画面を開き、申込から履修登録までを行います。
- ② 個人研修の研修一覧の中より希望の教材をクリック選択し、申し込みをします。
- ③ 個人研修教材費の支払をし、入金を確認されると、「個人研修入金確認・受講開始通知」メールが送信され(※)、動画受講が可能な状態になります。（個人研修一覧内の「動画配信」ボタンをクリックすることで、受講画面が表示されます。）
(※) 1週間経過してもメールが到達しない場合は、個人研修一覧のページをご確認ください。
- ④ 履修に当っては、映像内3ヶ所に記号を挿入してありますので、受講中に会員番号1桁目に対応した該当の記号を記録しておきます。（記号の確認方法については、個人研修申込画面にある「個人研修履修確認登録の確認キーについて」をご参照ください。）
- ⑤ 受講後、再度、協会ホームページ・会員専用ページ内の個人研修のページにアクセスし、「未受講」ボタンをクリックし、履修登録の画面で記号を入力し、履修登録をします。
- ⑥ 個人研修は、本部主催の継続研修となります。履修時間は1教材につき2時間の認定です。（履修上限時間は上記のとおりです。）
- ⑦ 受講と履修登録は、個人研修教材購入後90日以内に行ってください。
- ⑧ ⑦の履修登録期限内であれば、履修登録後でも、その講座を再度視聴することが可能です。

2. 価格

個人研修受講料：一教材（2時間）につき2,000円（消費税込み。振込手数料はご負担ください。）

3. 協会ホームページ「会員専用ページ」へのログイン方法

当協会本部事務局までお問い合わせください。

4. その他

- ・個人研修の教材は、過去に協会本部で開催した継続研修の講義内容です。（一部、支部ビデオ研修として使用されていた内容が含まれることもあります。）実際の研修を受講済みでも、個人研修として再受講することが可能です。
- ・教材は、個人研修を受講される会員の方のみの視聴に限ります。また、個人研修以外の目的での使用を禁止しています。

平成 29 年 1 月 18 日 新規販売開始 個人研修教材（6 教材）

教材 No.	研修ステージ (収録日)	教材名・講師 (講師肩書きは収録当時のものです)
T2017101	セカンドステージ (H28-11-16)	<p>「「病院経営」の視点で見た攻めの労務管理と現場での運用方法」 (株)日本経営 常務取締役 認定登録 医業経営コンサルタント 井上 陽介</p> <p><概要> 働く人の就労観や病院経営を取り巻く環境の変化に伴い、関係法令も変化していく。労働集約型産業である病院経営においては、労務管理のレベルによってトラブルの多寡が異なる。組織の防衛と従業員の幸せを同時に実現するためには、後手後手ではない。攻めの労務管理という視点で、有効な人事労務施策を紹介する。</p>
T2017102	セカンドステージ (H28-11-16)	<p>「コンサルタントの視点から見た診療報酬改定と対応」 高崎健康福祉大学 准教授 木村 憲洋</p> <p><概要> 平成 28 年の診療報酬改定は、収入の面や対応することが厳しいと言われている。一方で、医療の質と医療サービスの効率性を向上している病院では、診療報酬点数が後から迫ってきている状態にある。この違いは、どこにあるのか。そして、これからどのように対応していくのか、病院に対してどのように方向性を指南していけばいいのかについて解説する。</p>
T2017103	セカンドステージ (H28-11-16)	<p>「橋本市民病院の経営改革とその後に来るべきもの」 地方独立行政法人岡山市立総合医療センター 法人本部事務局長 岡山市市民病院 事務部長 橋本市民病院 非常勤経営顧問(前橋本市民病院 事務局長) 豊岡 宏</p> <p><概要> 地方の中小規模の自治体病院は、①職員定数の制限②高コスト体質③医師不足という 3 つの問題を抱えており、それゆえ多くの病院で経営がうまく行っていない。しかし、橋本市民病院では、民間から登用された事務局長が、①と②は「アウトソーシングと業務移管」、③は「これまでにない発送と対策」で対処。その上で、自治体病院の新しい経営改革モデルを構築すべく、平成 25 年 12 月から経営改革プロジェクトをスタートさせた。病院長をヘッドとし、経営の再建と医療の質向上を目標に始まったこのプロジェクトは、その傘下に、テーマ毎の 12 のワーキングチームを組織。職種横断的に参加を求めた多くの職員に、その道のプロの委託会社メンバーも加わって検討・準備を行った後、平成 26 年 4 月から 2 年計画で実行に着手した。その結果、橋本市民病院は、HCU 稼働・救急科新設・地域包括ケア病棟導入・購買改革等を行った 1 年目だけで、平成 25 年度の 3 億 5000 万円の赤字が平成 26 年度には 1 億 2000 万円の黒字となって 4 億 6000 万円の損益改善となり、経営再建を達成した。また 2 年目は医師採用や看護・リハビリ体制充実等の医療の質向上で成果を上げた。このように橋本市民病院の経営改革は大きな成果を上げており、アウトソーシングと業務移管を活用したその手法は他の自治体病院のモデルとなり得る。しかし、その一方で限界もあり、自治体病院を抜本的かつ永続的に変革していくには、独立法人化して病院を自治体から切り離すと同時に、都道府県単位で広域化するしかない。そうした自治体病院の現状について報告する。</p>

教材 No.	研修ステージ (収録日)	教材名・講師 (講師肩書きは収録当時のものです)
T2017104	セカンドステージ (H28-11-17)	<p>「医療安全を『人間中心』で考える ～航空機操縦室の安全対策「CRM」に学ぶ～」 CRM Service Inc. チーフプランナー(元全日空機長) 村上 耕一</p> <p><概要> CRMの出発点は「一人の人間の能力には限界があり、またその特性上エラーの発生は不可避である」というところにある。エラー発生仕組みを考えてみれば、エラーをするのは人間だが、それを防げるのもまた人間でしかないことがわかる。国や組織が安全を守ることはできない。安全は人間が守る。そのバックアップのための万全な体制を取るのが安全管理である。皆が共通の意識を持つようになれば、それはやがて定着して風土となる。CRMはそんな考え方についての「気付き」を促すものである。</p>
T2017105	セカンドステージ (H28-11-17)	<p>「これで安心、医療事故後の対応」 当協会理事、弁護士、税理士、日本中小企業経営専門家協会 理事 認定登録 医業経営コンサルタント 高須 和之</p> <p><概要> 医療事故発生という事実を変えることはできない。しかし、患者やご家族の方に対する信頼関係の回復、並びに円滑な交渉を実現するためには、事故発生後の医療機関の対応いかに大きく影響される。数多の事故処理を経験してきた演者が、事故後の望ましい対応を具体例を踏まえてわかりやすく案内する。</p>
T2017106	セカンドステージ (H28-11-18)	<p>「地域医療構想を踏まえて病床機能を考える」 国立がん研究センター 社会と健康研究センター 臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一</p> <p><概要> すでに多くの都道府県が地域医療構想の策定を終え、今後は構想で定めた目標の実現に向けて調整会議での議論が進められていく。その協議の場において医療機関が論理的な訴求を行っていく上で必要となる自己分析の方法と戦略立案のポイントについて解説する。</p>

※ 現在、上記新規販売教材以外に、既存の教材として動画配信が108教材あります。

継続研修に関するお問合せ先：(公社)日本医業経営コンサルタント協会

事業部事業第二課 TEL:03-5275-6993(研修・履修認定係直通)

[代表]フリーコール:0088-21-6996/TEL:03-5275-6996 Eメールアドレス:kensyu@jahmc.or.jp